

## 施策展開の方向性（案）

### 1 効果的な施策展開

厳しい財政状況の中で、広島らしい魅力ある夜間景観を形成することにより、広島に対する市民の誇りと愛着をさらに醸成するとともに、国内外から訪れる多くの人々が夜の広島の魅力を感じ、滞在時間の延長につながるナイトタイムエコノミーなどに資する施策効果を着実に上げるためには、より効果的な施策に集中して取り組んでいく必要がある。

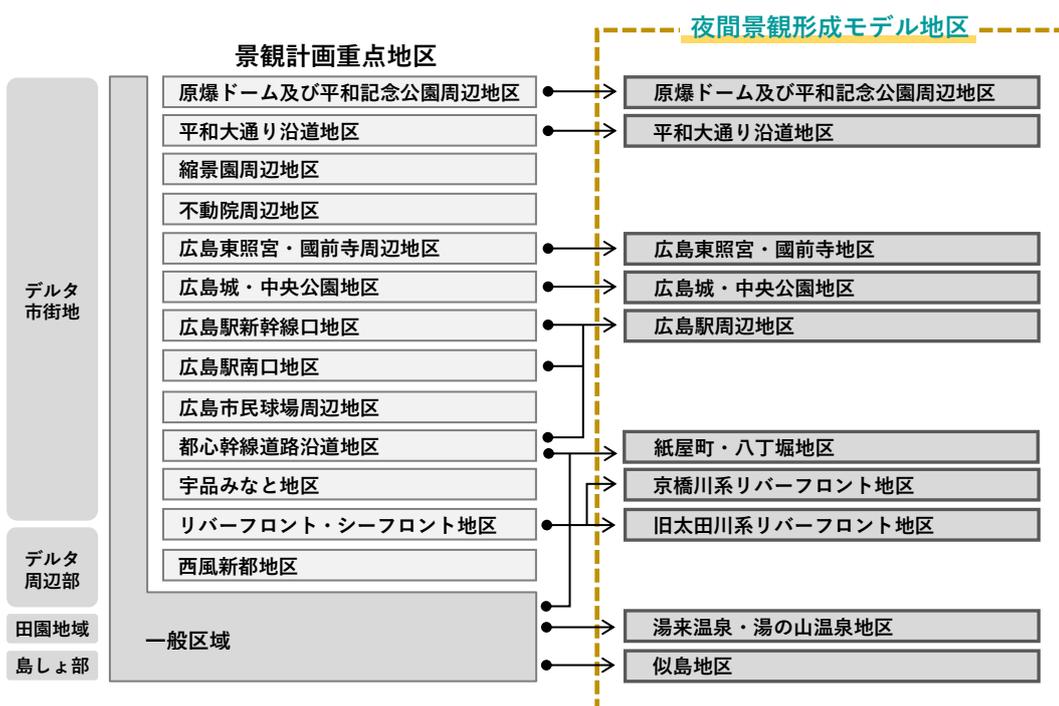
このことから、市民や観光客の往来の多い都心部を中心に、優先的に施策に取り組む地区を夜間景観形成モデル地区※（以下「モデル地区」という。）として設定し、そのモデル地区を対象に、効果的な施策について集中的に取り組むことが有効である。

一方で、住宅地や自然豊かな中山間地域など、夜間、光に対する配慮が必要な地域においても「光害」の発生を抑制する必要があることから、地域特性に応じた「安心をつくり出すあかり」に関する施策については、モデル地区外も含めた市内全域を対象に、規制や誘導のルール作りなどに取り組むこととする。

なお、こうした面的な施策展開に加えて、歴史的な建造物（建築物や橋梁など）や街並み、田園風景などのモデル地区外の魅力的な景観資源、平和の道や文化の道などの散策路についても、個別に夜間景観の魅力向上につながる施策に取り組んでいく。

#### ※ 夜間景観形成モデル地区の設定について

施策を優先的に取り組む夜間景観形成モデル地区の選定に当たっては、調査対象モデル地区を選定した際と同様、本市の景観上重要かつ象徴的で、重点的に取り組む地区である景観計画重点地区及び一般区域のうち特徴ある景観を有する例示地区を参酌しながら、景観照明の施策効果が高く、かつ効率的に実施することができる地区を対象にすることが望ましいことから、調査対象モデル地区10地区をそのまま夜間景観形成モデル地区として設定することとする。（別図参照）



## 2 具体的な取り組み方

基本方針に沿って魅力ある夜間景観を形成するためには、市民・事業者・行政が連携しながら取組を進めていく必要があることから、以下に示す2つの取組を両輪として、広島らしい魅力ある夜間景観の形成を推し進めることとする。

### 取組 1

#### 公共施設の計画的な景観照明の整備

現状の夜間景観に課題が多く見られた河岸緑地や公園、道路等はいずれも公共施設であることから、公共施設の夜間景観改善に取り組むことが最も効果的である。

国、県及び市の関係部署が連携して取り組む必要があるため、夜間景観形成基本目標を実現するための施策や事業についてとりまとめ、計画的に整備を進めることが有効である。

▶ 公共施設照明に関する夜間景観形成実施計画作成を検討

### 取組 2

#### 民間施設の景観照明等に関する景観誘導

魅力ある夜間景観を形成するためには、河岸緑地や公園、道路等の公共施設照明に加え、例えば、沿道に位置する民間施設の景観照明や建物内部からの漏れ光も大きな役割を担っている。

建築物の壁面や敷地内の樹木を照らして鉛直面の明るさを確保することや公共施設照明と調和した色温度の光源を採用すること、グレア等の「光害」を抑制すること等に関する夜間景観形成基準を定めるなど、適切な景観誘導の枠組みが必要である。

▶ 景観誘導・規制の枠組み構築を検討

#### (例) 水辺の夜間景観形成における取組イメージ



